

平成 24 年 5 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

山口県の主要指標 DI 値（平成 24 年 5 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：3.8% 悪化：46.3% DI 値：▲42.5% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：7.5% 減少：43.8% DI 値：▲36.3% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：5.0% 悪化：45.0% DI 値：▲40.0% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 24 年 5 月末現在）

| | | | | |
|--|--|---|--|---|
|  30 以上 |  30 未満～ 10 以上 |  10 未満～ ▲10 以上 |  ▲10 未満～ ▲29 以上 |  ▲30 以下 |
|--|--|---|--|---|

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 食料品 | 織 維 工 業 | 木材・ 木製品 | 印 刷 | 窯業・ 土石製品 | 一 般 機 器 | 輸 送 機 器 | 全 製 造 業 |
| ▲50.0 | ▲0.0 | ▲33.3 | ▲100.0 | ▲83.3 | ▲40.0 | ▲50.0 | ▲48.5 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 卸売業 | 小売業 | 商店街 | サービ ス 業 | 建設業 | 運輸業 | 全 非 製造業 | 全 体 |
| ▲40.0 | ▲55.6 | ▲100.0 | ▲15.4 | ▲33.3 | ▲28.6 | ▲38.3 | ▲42.5 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

| | | |
|---------|--|------------------|
| 食料品 | ゴールデンウィークは高速道路の1,000円制度も終わっている為か、高速道路売店よりも駅売店の方が好調な売上であった。県内の観光地については、特に目立った地域は無い。 | パン・菓子製造業 |
| | 4月は+1.3%と引き続き順調な売上で、新しい道の駅開業の影響もあまり無い模様。5月は23日時点で昨年同等の売上で推移。GW期間は好調だった昨年をさらに上回り、期間売上の最高値を更新した。5/16~22、首都圏の高級スーパー「紀ノ国屋」7店舗で、第二回「萩・津和野フェア」を実施し、品切れによる追加納品アイテムの続出で嬉しい悲鳴であった。中国ニュービジネス協議会・中国経済産業局が実施するニュービジネス大賞で特別賞の受賞が決定。当館の運用が新しいローカルビジネスのモデルとして評価され、6/5広島市内の授賞式に出席する。 | 水産食料品製造業 萩市 |
| | 資材関係の価格が上がり困っている。価格の転嫁が難しく、今後どの様にコストを抑えていくかが課題だが難しい。 | 水産食料品製造業 下関市 |
| 繊維工業 | 5月は急激な市場の冷え込みで受注減となった。価格的にも低価格化が進み非常に厳しい状況で、売れないことから低価格方向になりがちである。来年度の新卒就職活動が始まり、学校の先生方の企業訪問があったが、残念ながら来年の採用はお断りをしている現状。国内は一段と厳しい方向になりそう。 | 下着類製造業 |
| | 震災から1年経過して、消費に回復の兆しが見られる。 | 外衣・シャツ製造業 山口市 |
| | 受注状況は比較的安定しているが、再び円高に向かいつつあり、先行不透明。 | 外衣・シャツ製造業 下関市 |
| 木材・木製品 | 木造一戸建ての着工数が依然として低調で、各組合員とも受注が少ない状況が続いている。 | 製材業・木製品製造業 |
| 印刷 | 需要の停滞に伴い紙材価格が低下傾向。4月以降の受注、引き合いが顕著に減少し、不定期の商業印刷物の発注も無く、売上が上がらない。 | 印刷 下関市 |
| | 相変わらず印刷物の価格は低迷を続けている。昨年受注した物件も、今年度は消滅といった例もあった。 | 印刷 山口市 |
| 窯業・土石製品 | 対前年同月比は、骨材61%、路盤材84%、再生材52%、全体では65%。 | 砕石製造業 |

| | | |
|------|---|------------------|
| | 出荷量は、前年同月比88%。前月比91%と低調。出荷量が前年比、前月比とも上回ったのは1地域のみ。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じておらず、価格も安定して推移している。 | 生コンクリート製造業 |
| 一般機器 | 欧州（ギリシャ等）の金融不安再燃による不透明感や、それに伴う株価低迷や急激な円高ドル安の進行により、先行きが見辛い状況にある。その中で、自動車関連は一部明るい状況にある。 | 一般機械器具製造業 柳井市 |
| | 消費税アップ前のマンションの新築が散見され、付帯した骨材関連の工事が一部にあるものの、全般としては、横ばい状態である。又、化学工場の災害復旧工事も本格化しており、その関連企業には受注の動きがある。これが、一過性の特需として終わるか否か、今年後半の2～3期の業況判断DI値が注目される。 | 一般機械器具製造業 周南市 |
| | 5月の業況は、事業所によりバラツキはあるが、操業度は上昇傾向にある。 | |
| | 受注が無い現状。鉄骨加工の企業では、復興需要を期待しているところもあるが、基礎工事の段階であるので受注はない。全体に沈滞ムードが漂っている。 | 一般機械器具製造業 防府市 |
| | 親会社の受注量が減少し、売上高減少。今後の売上げ低下により、派遣社員の雇止めを検討しなければならない。 | 一般機械器具製造業 宇部市 |
| | 売上高は増加している。 | 一般機械器具製造業 宇部市 |
| | 前年同月と比較して受注状況は少しは良くなったが、受注出来ても価格が安く短納で厳しい。5月の設備操業度は4月と比較して上昇して来ているが、まだ不足の状態。成形機業界では海外への輸出及び、海外に成形機の生産工場を建て現地生産を行うメーカーが多くなってきている。日本からの輸出比率が下がってくるのではないだろうか。金型も同様海外での現地調達の動きが活発になっている（中国、韓国、台湾、タイ、ベトナム、その他）。今後、家電・半導体の低迷と欧州金融危機の影響が景気を冷やす可能性もあり、国内の金型メーカーはさらに厳しくなり、価格もさらに下がりそう。 | 特殊産業用機械製造業 |
| 輸送機器 | 好転の兆し全く見えず。 | 船舶製造・修理業 |
| | 生産調整域に入り、車両、精密加工部門とも受注量が下降、作業高も本格的に減少してきた。当面上昇の気配は感じられそうにない。 | 鉄道車両・同部品製造業 |
| 卸売業 | 景気は相変わらず低迷・滞り、各業種とも売上高が減少し、苦しい経営状況が続いている。今後も売上高・受注量・利益とも厳しいが、コスト削減の効果は現れており、景 | 各種商品卸売業 周南市 |

| | | |
|-------|---|------------------------|
| | <p>気が上向き、売上が上がることを期待している。石油価格も低下傾向にあり運送業・食品流通関係はやや回復基調にある。</p> | |
| | <p>5月末の総会で久しぶりに組合員が集まった。組合員によると「景気についてはあまり良くない」との事。団地内の貸店舗は家賃滞納が最近の状況であったが、6月中に退去の方向となり、円滑な入れ替えを望んでいる。</p> | <p>各種商品卸売業 防府市</p> |
| | <p>山口宇部道路の無料化により車両の通行量が増加。又、空き倉庫の問い合わせが増えた。</p> | <p>各種商品卸売業 山口市</p> |
| | <p>各業種とも売上減、利益減の苦しい状況が続いており、一般経費及び固定経費の削減に努めている。</p> | <p>各種商品卸売業 下関市</p> |
| 小売業 | <p>資生堂のWEB会員制度が4月21日より開始となったが、中小専門店への影響がどのくらい出ているのか、現状ではまだ把握できないでいる。7月3日に中国ブロック大会の引き受けがあり、準備が大変な状況。</p> | <p>化粧品小売業</p> |
| | <p>5月は宝石大会を開催したが、ゴールデンウィーク明けの開催でなかなか商品が集まらず苦戦した。金・プラチナ等の価格も連休明けから価格が下降し、国際情勢の影響を受けており、ユーロ圏などのさまざまな情勢の安定を期待している。日本の政治経済事情もなかなか晴れないこの状態に、早く策を講じてほしいものである。</p> | <p>中古品小売業</p> |
| | <p>5月連休は例年通り、閑散とした人出であった。</p> | <p>各種商品小売業 周南市</p> |
| | <p>ゴールデンウィークは昨年より休日が少ない分、商店街への人出が減少し、その分売上高が減少したものと思われる。</p> | <p>各種商品小売業 山口市</p> |
| | <p>既存店舗は売上、客数共に前年割れですが、ヤマダ電気への子供連れの若い客層が見受けられるようになった。又、2階の自販機コーナー前の区画へゲーム及び、プリクラの機械を設置し、SC全体でも集客に努めている。</p> | <p>各種商品小売業 長門市</p> |
| 商店街 | <p>中心商店街の東の核と位置付けられた共同店舗の核店舗がわずか一年で撤退。他大手・中小小売店舗との過当競争となることは、当初から予想されていたことである。</p> | <p>山口市</p> |
| | <p>アーケード・イベントホールの高度化資金借入の返済は終了したものの、組合員の減少が進む中、組合の財政が厳しくなる事が考えられ、設備及び組合の維持管理費等で苦慮しそうである。現在の2つの商店街振興組合を何とか一本化し、効率化を図り商店街の活性化につなげたいという意向が再度、持ち上がっている。</p> | <p>萩市</p> |
| サービス業 | <p>東日本大震災の支援活動として組合員店舗に募金箱を設置。集まったお金は、全日本美容業生活衛生同業組合連合会を通じ、被災県の組合員へ支給がなされた。被災さ</p> | <p>美容業</p> |

| | | |
|--|---|------------------------|
| | <p>れた方々から「組合員で良かった。組合の力と温もりを実感できた。全国の組合員の皆様のご支援に感謝いたします。」との声が多い。これからも組織の絆の大切さを組合員と証明していきたい。</p> | |
| | <p>組織強化に取り組みながら、組合脱退が多く苦慮している。</p> | <p>理容業</p> |
| | <p>平成23年度の新車販売は昨年9月から対前年同月比でプラスが続いており、年度合計は+3.7%となり、エコカー購入補助やエコカー減税の効果が現れた結果となった。その中でもハイブリッド車（HV）の比率が高く、今後、点検・車検等による入庫が予想されることから組合では新技術研修を強化することになっている。</p> | <p>自動車整備業</p> |
| | <p>5月は現状維持。ただ、エコカー減税が終了しそうな7月以降が心配。</p> | |
| | <p>先月と状況変わらず。システム開発案件が非常に少ない状況で、だんだん深刻化している。 受託開発会社は、春先からどんどん淘汰されているので、いままでの受託ビジネスモデルにしがみつかず、提案・コンサル営業できる体制が急務。</p> | <p>情報サービス業 宇部市</p> |
| | <p>代替需要の受注が引き続き増加してはいるが、受注金額が以前に比べて減少傾向にあるため利益の確保が難しい状況。夏から秋以降の受注確保が課題。資金的な調達も必要になると考えている。</p> | <p>情報サービス業 萩市</p> |
| | <p>特に変化は無い。</p> | <p>屋外広告業</p> |
| | <p>1 大型連休以後業界内の景況は膠着状態にある。湯田温泉では、居酒屋の大型チェーン店がオープンし、連休中の賑わいを見せていたが収益を考えれば早々の撤退も考えられる。景況はシニア女性に左右されている状況に変わりなく、零細個人営業店にとっては顧客の減少が痛手となり、営業的には最悪となっているものの、店舗により温度差の見られることも事実のようだ。経営者の高齢化による廃業も一段落してきたが、新規開業者年齢の高齢化は顕著になり飲食業経営者の若返りは望み薄の状況も見える。政局の不安定が先行き不安をあおっており、一刻も早い景気回復のシナリオを明確にしてほしい。食材の値上げが転嫁できないことはデフレスパイラルの所為と分かっているがなぜ関係者は動こうとしないのだろうか。</p> <p>2 金融経済から消費経済への転換を。ユーロ危機、アメリカ経済の凋落、中国バブルの崩壊等、近年の景況の元凶は金融経済の所為ということは皆わかっているのに、日本の選択肢が見えてこない。健全な消費活動こそ</p> | <p>飲食業</p> |

| | | |
|-----|--|-------------------|
| | が、経済の主流ということを地方自治体、中小企業者も中央会も声を上げるべき。 | |
| | 震災の昨年より宿泊客数は増加したが、客単価が下っており、収益の向上には至っていない。 | 旅館業 萩市 |
| | なかなか良い雰囲気にならなかったが、ここ最近やや回復しつつあるようで、一時期の厳しい環境が緩んできた。商品単価は、未だ低価格のまま推移している。宿泊者の財布も、緩んできたようでお土産を購入される方が増えた。ゴールデンウィークは、例年同様に良かったが、その他の平日は良くなかったという声が多い。 | 旅館業 下関市 |
| 建設業 | 先月より見積もり数は若干増えているが、着工数はなかなか増えない。耐震補強工事の発注は少しずつある。民間工事はまだまだ冷えている現状。 | 鉄骨工事業 |
| | 中電への工事申請4月371件（当支部分246件）前年同月376件（同317件）。太陽光発電への申請23件、オール電化申請14件（前年は太陽光1件、オール電化12件）。LED街路灯への切替・新設申請は160件（前年は253件）。 | 電気工事業 |
| | 仕事量は、東部（岩国基地関係）は多そうだが、中部、西部は多くない傾向。 | 左官工事業 |
| | 公共工事の道路維持、海岸防災維持管理等の施設管理業務は、最低価格制度が無い為、毎年落ち続け、本年度は価格の50%程度まで落ち込んでいる。住宅関連工事は、減税により、少しではあるが増加傾向にある。 | 土木工事業 柳井市 |
| | 公共工事の受注は0円。 | 土木工事業 周南市 |
| | 24年5月の受注高は、対前年同月比9%。今年度の累計は、対前年比56%。 | 土木工事業 萩市 |
| | | |
| 運輸業 | 運輸関係は、4月～5月にかけて連休10日間実施の大手企業もあり、輸送稼働率は低下。又大手化学工場の事故により一層、物流の鈍化が顕著になってきた。鉄鋼素材等の輸送も国内外とも横ばい。関東、関西方面からの復荷獲得がスムーズにいかない月であった。対前年同月比22%減。油関係は0.4円の値下げ。 | 一般貨物自動車運送業 下松市 |
| | 5月も前年度に比べれば順調に推移、売上も大きく伸びている。しかしながら、昨年度は震災の影響も残る中であるので、『今後を注視』していかなければならない。燃料価格はひとまず落ち着いているが、世界情勢により状況は一変するので、現価格が下限のように思われる。 | 一般貨物自動車運送業 防府市 |

| | | |
|--|---|---------------------------|
| | <p>運輸業についていえば、昨年同月比で9割までは回復してきたものの厳しい状況には変わらない。しかし、軽油単価も天井を打ったような印象であり、最悪期は脱したのかというように思えるが、もう少し様子を見る必要がある。我々の顧客についても好不況のまだら模様が窺える。</p> | <p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p> |
| | <p>4月末から5月3～5日と連休が続き各社の車の稼働はよろしくない。燃油は下り気味で、5月分軽油価格は、10当たり：一般SS価格122円相場である。当組合の価格は10当たり：インタンク（タンクローリー配送の組合備蓄分）価格78.3円、SS価格81.3～116円ぐらいで共同購入のお陰で助かっている。世界情勢に左右されるので今後の予想がつかない。前期決算は赤字でも頑張っており、赤字の要因は保管庫が満杯にならなかったため。</p> | <p>一般貨物自動車運送業 下関市</p> |
| | <p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比マイナス5.3%（4月1日～5月20日分）。4月1日～30日分は△4.6%と減少。5月1日～20日分についても△6.5%と減少している。物価が上昇し、景気が回復していると言う発表があるが、当地域のタクシー業界ではますます景気が悪化しているとしか思えない。燃料のLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。イラン問題等でブタンやプロパンのCPが2、3月に続き4月分は大幅に急騰した。6月は低下する予定だが、5月のタクシー会社の購入単価は前年比+20%と過去最高となり、収益状況をたいへん厳しいものになっている。</p> <p>昨年も震災余波等で売上が減少しており、今年は国体等の大型イベントによる需要増加の見込みもない状況であり、今後ますます景気が後退するのではないかと思われる。周南市の大手工場の事故後の復旧等、新たな事業が早く開始される事が切望される。</p> | <p>一般旅客自動車運送業</p> |
| | <p>小野田地区については相変わらず低迷のままの様子。県内の話ではないが、昨年度の九州地区の港湾荷役実績は、微増（2.8%）、東北地区は東日本大震災の復興需要が続いているとの事のようなのだが、波及効果が山口県まで回ってくるかは疑問。</p> | <p>港湾運送業</p> |